

常任委員会代表質問通告・内容一覧表

議会傍聴者用

質問順	質問委員	通告の標題・内容
1	産業厚生 常任委員長 加納 茂	<p>◎ 大型事業の今後の展開について</p> <p>(1) バイオガスプラントについて FIT（電気固定価格買取制度）終了後は売電収入が減少するが、施設維持等の費用増加が予想される。資金確保の方策、メタンガスの有効利用等今後の事業展開は。</p> <p>(2) 瓜幕バイオガスプラントについて 余剰熱を利用したハウス施設で栽培されている作物は、施設が持つ機能性を生かした取り組みと言い難い。付加価値がついた作物の栽培等、今後の事業は。</p> <p>(3) 第3基目のバイオガスプラントについて 今後の具体的な建設計画は。</p> <p>(4) チョウザメ事業について キャビア・雄の魚体の出荷はいつ頃になるか。また、民間への移行についての考えは。</p>

一般質問通告・内容一覧表

質問順	質問議員	通告の標題・内容
1	狩野正雄	<p>◎ 災害に強い地域づくりの進め方</p> <p>全国各地で記録的な大雨等による甚大な被害が発生している。災害の対応策として明渠排水路の整備や河川の管理が強化され、防災・減災の取組が計画的に進められることは、住民の安心・安全につながる。</p> <p>災害に強い地域づくりの進め方や、今後の計画について。</p> <p>(1) 然別川は北海道が管理しているが、河道内には玉石や土砂が堆積している。河道掘削などによる水害対策工事の予定は。</p> <p>(2) 瓜幕地域、笹川地域で明渠排水路の整備が進められてきたが、計画された整備工事の進捗率は。 今後整備を必要とする地区や維持管理の方法は。</p> <p>(3) 町から防災ハザードマップが示されたが、住民の防災意識の向上や関心をもってもらうための計画・活用・協力体制の方法は。</p>

質問順	質問議員	通告の標題・内容
2	川染 洋	<p>◎ 本町の一貫教育の現状と今後の施策について</p> <p>(1) 文部科学省の開発研究指定校としての役割が終了し、一貫教育も終了したように思われる現状がうかがえる。 開発研究と一貫教育は別物でありながら相乗効果を求めたものと認識しているが、両教育行政の関連性と今後の継続性についてどのように認識していたか。</p> <p>(2) 本町の一貫教育の目的は、就学前児童から高等学校までの全過程を通して継続的・効果的に教育課程を実践するものと想定していた。しかし、教育行政執行方針では「小中高一貫教育」、ホームページでは「幼小中高一貫教育」としている。 本町の一貫教育の本質を具体的にどのように考えるか。</p> <p>(3) 一貫校育は就学前児童から途切れなく行われることが望ましいと思うが、どう考えるか。</p> <p>(4) 教育長の大きな役割の一つとして、優秀な教員の招へいが課されていると思うが如何か。</p>
3	山口優子	<p>◎ コロナ差別や偏見のないまちづくりについて</p> <p>新型コロナウイルス感染症は完全に回避することは難しく、誰もが感染者や濃厚接触者になってしまうと考えられる。 このような中、正しい情報を共有し、差別や偏見のないまちづくりについて啓発しなければならない。</p> <p>(1) コロナ差別を防止するために、町はどのような取組や啓発を行なっているか。</p> <p>(2) 感染者や家族・医療従事者に対し差別や偏見・いじめと思われるような人権侵害・不当な取扱いが発生した時、町としてどのような対応・対策を行うか。</p> <p>◎ 「行財政改革」ならびに「公共施設管理計画」の進め方、町民参画と合意形成について</p> <p>行財政改革、公共施設や遊休公共施設の活用計画は共に町民のための計画でなければならない。 新型コロナウイルス感染症の影響により設置されなかった行財政改革における審議会に代わり、町民からの意見を反映するための町民参画と合意形成を図る具体的な方法をどのように考えるか。</p>